

東京大学医科学研究所ヒトゲノム倫理審査委員会 平成22年度第10回議事要旨

日 時： 平成23年3月7日（月） 14:00～15:45
場 所： 1号館2階会議室
出席者： 村上委員長
水本、柘植、小池、加藤、渡邊（俊）、古川、渋谷の各委員
陪席者： 神里研究倫理支援室特任助教
佐久間研究助成係長、岩本、吉田研究助成係主任

（議事）

1. 倫理審査申請書の審査について

(1) 22-58 「次世代シーケンサー解析支援」(新規)

(申請者：ゲノム機能解析分野・准教授・長崎 正朗)

本件について、申請者である長崎 正朗 准教授及び分担研究者である渋谷 哲朗 准教授から研究内容および解析支援サービスを行う理由について説明があり、審議の結果、以下の点を条件に承認することとした。

なお、渋谷委員は、本研究における分担研究者であることから、本件の審議・採決には不参加である。

- ① 解析支援サービスの依頼機関が倫理的に適切な手続きを踏んだことを確認するためのチェックリスト等を作成し、解析依頼機関には倫理審査結果通知書等に加えてそれも依頼に際して添付してもらうこと。
- ② 基礎的な解析の依頼について、本研究計画の年次報告において報告すること。
また、カスタム解析依頼及び基礎的解析依頼の中で本委員会への付議が妥当であるとヒトゲノム解析センターの運営委員会で判断されたものについては、あらためて倫理申請を行うこと。

なお委員から、本研究のような解析支援サービスについて、海外における事例等も確認しておくのが良いとの意見があった。

(2) 22-49 「SORD との連携による希少難病疾患原因解明」における iPS 細胞樹立支援」(修正)

(申請者：幹細胞治療研究センター・助教・金子 新)

本件について申請者から、1月の委員会指摘事項に対する修正点について説明があり、審議の結果、委員会指摘事項に対し、適切な修正がなされていることを確認し、これを承認することとした。

なお、委員から、本研究の対象者は希少難病の患者の方々であることから、本研究への参加にあたり、過度の期待を抱かれないよう、同意取得の際には十分配慮してほしいとの意見があった。

2. 倫理審査申請書の修正の報告

委員長から、以下の修正申請等について承認した旨説明があり、了承された。

- ・ 22-39 「腫瘍の遺伝子発現解析に関する研究」
(申請者：ゲノムシーケンス解析分野・教授・中村 祐輔)
- ・ 22-24 「統合失調症関連遺伝子の解析研究」
(申請者：癌細胞シグナル分野・教授・山本 雅)
- ・ 22-42 「インフルエンザウイルス感染による重症化肺炎の発生病機構解明に関する

- 研究」(申請者:ウイルス感染分野・教授・河岡 義裕)
- ・ 22-7 「薬剤性過敏症候群の遺伝子多型解析」※共同研究機関倫理承認通知の確認
(申請者:ゲノムシーケンス解析分野・教授・中村 祐輔)
 - ・ 10-50 (※新領域創成科学研究科審査依頼案件)
「ATL 発症高危険群の同定と発症予防法開発を目指して」
(申請者:新領域創成科学研究科・渡邊 俊樹 教授)
 - ・ 10-59 (※新領域創成科学研究科審査依頼案件)
「エイズ関連リンパ腫検体を用いた miRNA の網羅的発現解析と臨床応用への可能性の
検討」(申請者:新領域創成科学研究科・渡邊 俊樹 教授)

3. 迅速審査の報告

委員長から、以下の変更申請について、迅速審査により承認した旨説明があり、了承された。

- ・ 22-39 「腫瘍の遺伝子発現解析に関する研究」(変更)
(申請者:ゲノムシーケンス解析分野・教授・中村 祐輔)

4. 前回(平成22年度第9回)議事要旨の内容について承認した。

5. その他

委員長から、来年度の委員会について委員の変更がある旨説明があり、次いで、委員長及び加藤委員から今年度で退任となる旨の挨拶があった。

以 上